

平成24年第1回定例会

(3月9日)

一般質問資料

(1回目)

自由民主党千葉市議会議員団
向後保雄

平成24年第1回定例会（3月9日）

一括質問

通告時間：30分

自由民主党千葉市議会議員団の向後保雄でございます。まず最初に、先月ご逝去されました松井旭元市長のご冥福を心よりお祈りいたします。また、先日火災にあわれた盛田議員に対しましてお見舞いを申し上げます。

それでは、通告に従いまして早速、質問をさせていただきます。

1 中央区の諸問題について

(1) 民生委員について

まず初めに民生委員についてです。この質問はすでに私も何回もやっておりますが、なかなか改善されずにおりまして、今日も第 110 地区部会の方々が傍聴に来ておられますが、地区部会の方々の話によれば、8 年前から関係部署の担当者を含め、中央区長とこの問題解決には町内自治会設立が必要であるとして、市の働きかけを要請しましたが一向に進まずに今日に至っていると聞いております。

そもそも、第 110 地区の民生委員さんのテリトリーは従来、新宿 1・2 丁目、神明町、新田町、出洲港の 5 町会でしたが、問屋町にマンションが乱立し、更に、中央港、千葉港が加えられており大変広範囲になっております。現在の 5 町会の世帯数は、3 7 5 2 世帯であり、新住宅地区世帯数は 3 4 9 7 世帯、その他現在建設中および建設予定が約 4 2 0 世帯あります。そこで、現在の第 110 地区が受け持つ 5 町会、問屋町、中央港、千葉港地区の高齢者の人口動態を平成 5 年から 2 3 年まで、5 年刻みで千葉市の統計資料から集計してみましたので、プロジェクターをご覧ください。・・・・・・・・・・・・・・・・

このように、第 110 地区の民生委員さんが受け持つ高齢者の所在範囲は広範囲でこれだけ大勢の高齢者を

6名の民生委員さんで受持っています。次の一斉改選の時までに対策を採ってもらわないと困るとのことです。また、今や、防災の面からも大規模災害時には近隣住民どおしの協力が求められており町内自治会の結成は重要です。そこで伺います。

一つに、今まで、問屋町、中央港、千葉港のマンション住民に町内自治会を結成してもらえるよう市で働きかけてほしいとの要望に、市はどのように取り組んだのでしょうか。

二つに、民生委員が欠員となっている地区は、いくつあり、また、第110地区のようにマンションが多く建設された結果、欠員になっている地区は、他にあるのでしょうか。

三つに、現在、第110地区の民生委員は、問屋町、中央港、千葉港などのマンション区域だけでも600人もの高齢者がいる中、民生委員活動や高齢者調査等のため日々ご苦労されておりますが、マンション区域から民生委員を選任することを促す意味でも、来年の12月に予定されている一斉改選では区域の分割をも考えなければならないとの話を地域から伺っております。そこで、マンション等が多数建設され、人口が急増した地域での民生委員の選任について、どのように対応してゆこうと考えているのか伺います。

(2) 栄町の電線共同溝整備について

次に、栄町の電線共同溝整備事業について伺います。栄町通り商店街振興組合では、昨年、反対者もおられるなかでしたが、国の予算を使ってアーケードを撤去し、48基の街灯が煌々と夜の街を照らしています。もともと、電線共同溝工事と一緒にアーケード撤去も行う予定であり、当初そのつもりでアーケード撤去に賛成した人たちも数多くいると聞いております。しかし、国の予算の関係でアーケード撤去が先行して行われることとなったわけですから、栄町通り商店街振興組合の方たちにとって、電線共同溝整備事業の完成は一日も早く望まれるところです。

そこで伺います。

一つに、電線共同溝工事の整備箇所及び現在の状況と今後の予定をお示しくください。

二つに、工事を進めていく中で、今後予想される課題があればお示しくください。

三つに、電線共同溝工事と同時に歩道の整備もすると聞きましたが、いつ、どのように整備するのかお示しくください。

(3) 中央港のまちづくりについて

次に、中央港のまちづくりについて伺います。

先月 22 日に熊谷市長が、森田知事を訪ねて、中央港の旅客船さん橋工事の早期完成をお願いに行ったところ、2 基のさん橋のうち先行する 1 基目の使用開始時期が震災の影響で、当初の平成 25 年度から 2 年遅れて平成 27 年度になるとの報告を受けたとのことでした。そんな状況のなか、市民から、ある企業の所有する 11,600 m²の、まさに旅客船さん橋が整備されようとする場所の真ん前の土地に、パチンコ店が建設されようとしているんですが、なんとかなりませんか？との要望がありました。

そこで、みなさんプロジェクターをご覧ください。・・・・・・・・・・・・・・・・

どうですか、みなさん、経済部が 9 都県市船出プロジェクトを実施し、千葉の港から東京湾の海上交通や様々な観光を発信しようとしている中で、中央港に 2 軒のパチンコ店が競合することになるわけです。パチンコ店の商売の邪魔をするわけではないんですが、よりによって観光の発信基地となる中央港に 2 軒もパチンコ店が隣接しなくてもいいじゃないですか？これが千葉市の千葉中央港のまちづくりとして正しいでしょうか？そこで伺います。

一つに、中央港のまちづくり協議会のなかで、こ

ここにパチンコ店が出来ることについて、どのような協議がされたのでしょうか。

二つに、本来であれば、旅客船さん橋を整備して観光の発信基地を目指すところに、パチンコ店はふさわしくないので、遠慮してもらうようお願いすべきであると考えますが、そのような依頼はあったのでしょうか。このようなまちづくりを目指す中央港地区でパチンコ店が建設されることについて市としてどのような「まちづくり」を考えているのか。

三つに、中央港のまちづくりを進める上で、企業誘致に際し、専門的なプランナーの活用を図るなど市はもっと積極的に関与すべきではないでしょうか。

四つに、パチンコ店が建設される場合、千葉市は、建築物の色やデザインなどについてどのように指導するつもりなのか。

五つに、旅客船さん橋工事が進んでいないことが「まちづくり」が遅れている原因と考えられますが、工事を速める手立てはないのでしょうか。

2 ベイサイドジャズ15周年について

次に、ベイサイドジャズ15周年について伺います。

田那村実行委員長が率いるベイサイドジャズ千葉は、昨年引退された納元議員が特に力を入れて推進されており、文化振興財団のバックアップのもと、平成10年に第1回目が開催されて以来、今年で記念すべき15回目を迎えます。私も今まで何度かベイサイドジャズを楽しむ機会がありましたが、去年はジャズボーカリスト、マリーンをゲストに招いてジャズストリートゴールドとして、素晴らしいステージを楽しませてもらいました。毎年、素晴らしいジャズ演奏者が、僅かなギャラで参加してくれませんが、これもひとえに実行委員会メンバーの中心である大原保人さんのお声掛けのおかげであると思いますし、それを支えてくれているメンバーの皆さんのご尽力にはほんとに感謝申し上げます次第です。

当局としても、大幅にカットされている文化振興予算の中で、少なくなつたとはいえ財政状況の厳しい中、ベイサイドジャズ事業予算については、確保していることは評価するものです。そこで伺います。

一つに、昨年までの実施状況を踏まえてどんな課題があったのでしょうか。

二つに、記念すべき節目の15周年をどのように演出してゆくつもりなのか伺います。

3 大規模地震発生時の対応訓練について

(1) 訓練実施内容について

(2) 訓練結果と今後消防団との連携について

最後に、大規模地震発生時の対応訓練について伺います。昨年3月11日に発生した東日本大震災は、観測史上最大規模のマグニチュード9.0の地震とそれに伴う大津波の発生に加え、原子力発電所事故により、多くの尊い命と貴重な財産を失うなど、未曾有の大災害から間もなく1年が経過し、未だに避難生活を送られている多くの方々があります。

この東日本大震災の被害からもわかるように、大規模地震が発生した場合の被害は甚大であり、本市においても首都直下地震や千葉県東方沖地震の発生が懸念され、多くの火災や家屋・ビルの倒壊など甚大な被害も予想されます。

このような事態が発生した場合、消防局では迅速な消防対応が図れるように、全職員を対象による招集訓練と併せ、消防局及び各消防署にそれぞれ対策本部を設置し、消防部隊を効率・効果的に運用する訓練を実施していると聞いております。

また、このような大規模災害時には、常備消防だけではなく消防団と連携した活動が重要であり、望まれる活動の姿であるとの理由から、今年度初めて、分団長以上が招集訓練に参加しており、実は、我が

会派の中島賢治議員も消防団第3分団長として、私も第1分団長として招集訓練に参加いたしました。そこで伺います。

一つに、大規模地震発生時に対応する訓練の実施内容について。

二つに、訓練実施結果と今後消防団との訓練の連携について。

以上で、私の第1回目の質問を終わります。当局の明快なご答弁をお願いします。